

石島会計メモ

平成28年 4月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

実現する大イベント

所長 石島洋一

☆☆超有名企業の経営者のシンポジウム

今、私が夢中になっているのが、母校小田原高校同窓会の「経営者シンポジウム」の開催です。卒業後50年のイベント企画学年にあたり、私が提案させてもらい、多くの友人の協力を得て、いよいよ5月15日(日)に実現することになりました。

出演者は、富士ゼロックス、関電工、ヤマトホールディングス、麒麟ホールディングスの社長経験者や現社長です。

私がこの企画を提案したところ、「そんなの無理でしょう!」と言われました。やってみなければわからないものです。友人であるヤマトの瀬戸氏に話したら、「それは良い!」と数日のうちに他の経営者の合意を取り付けてくれました。有り難いことです。そして、こうした人たちの母校愛も嬉しかったです。

今回、一人一人の参加経営者と打ち合わせをする中で、いろいろなお話しを聞くことが出来ました。私にとっては、ものすごい体験でした。ここでは富士ゼロックスの山本忠人会長のお話を紹介したいと思います。(裏面に続く)

一流企業経営者4名が一堂に!

経営者シンポジウム
~今を『創る』、そして明日のために~

日時 平成28年5月15日(日) 開場 12:15

場所 県立小田原高等学校視聴覚室(集成館ホール)

参加費無料!

<パネリスト>



山口 学 氏(高16)
(株)関電工
代表取締役会長



山本 忠人 氏(高16)
富士ゼロックス(株)
代表取締役会長



瀬戸 薫 氏(高18)
ヤマトホールディングス(株)
取締役相談役



磯崎 功典 氏(高24)
麒麟ホールディングス(株)
代表取締役社長

今月(4月)からの雇用保険料引き下げに注意!!

4月より雇用保険料が引き下げられます。一般の雇用保険料の改正は次のとおりです。この雇用保険料の改正は今月の支払分から改正になりますので、4月の給与支払い時にはご注意ください。

雇用保険料 社員負担分 従来 5/1000 → 改正後 4/1000

☆☆社長になって「脱複写機」宣言

昔の富士ゼロックスはアメリカのゼロックス社の複写機を販売する会社でした。学生時代技術系だった山本さんは、何とかして富士ゼロックスを技術力のある会社になりたい、そう思って相当な努力をしたようです。今では、技術力を持った会社に変身、その夢は叶い、山本さんは同社初の技術畑出身の社長になったのです。

そして、なんと社長になってから「脱複写機」を唱えるのです。主力商品である複写機を売らなかったら、会社はどうなってしまうのでしょうか？

でも、その真意はハードとしての複写機を売るのではなく、お客様の事務の諸問題を解決するお手伝いをしよう、という意味だったのです。「モノ」を売るのではなく、お客様の問題解決という「コト」を売っていく方針に切り替えたのです。

☆☆言行一致の重要性

ペーパーレス化は、多くの企業で取り組むべき課題とされています。複写機のもつ資料の電子化機能が役に立つことになります。しかし、自社のペーパーレス化が進んでいなければ、お客様に自信をもって勧めることはできません。

そこで、自社の状況を調べたら、なんと紙ベースでの保存が非常に多かったそうです。これではいけないということで、自社のペーパーレス化を徹底しました。今では会議資料もタブレットの中に収まって、紙資料のない会議が多くなったそうです。こうした「言行一致」があったからこそ、営業が自信を持ってお客様にノウハウ提供ができ、それが好成績に結びついているといえます。



☆☆夫婦で書いた辞表

山本さんのインタビュー中、ちょっとおもしろかったのが辞表を夫婦で書いた話でした。

ある部門の責任者になっている時、技術的な大問題が発生してしまいました。部下に責任をとらせるわけにもいかず、自分が辞表を書くことにしました。しかし、辞表の書き方がわからない。そこで、奥さんに電話したそうです。

「(事情を話した後で) 図書館にいけば、辞表の書き方の本があるかもしれない。見つけてきて欲しい」

しばらくしてから、奥さんから電話があり、嬉しそうに言ったそうです。

「あなた、有ったわよ、辞表の本！！」

今になれば、ほのぼの感さえたやうエピソードですが、こうしたピンチを乗り越えてきた山本さんの話だけに、仕事への情熱を感じずる一方で、暖かな人間性をも感じ取ることができました。

お花見 in 日本橋

田代真紀

3月中頃より日本各地から桜の開花が伝えられ始めて以来、桜前線は日々北上して行っています。東京近辺の桜はもう終わりですが、今年は花冷えの影響で、見頃が比較的長い期間続いたように思います。美しい桜には心洗われるもの、もう少し余韻に浸ってみませんか。

～花見の歴史～

ところで、お花見っていつごろから行われているかご存じですか？古来より神事として行われていたもので、元々は「梅」だったそうです。平安時代になって桜になったのですが、江戸時代までは八重桜や山桜でした。明治になりソメイヨシノが育成され、全国・世界に広がったようです。

～桜と日本橋～

さて、日本橋界隈の桜を見にいってきました。日本橋のたもとにも大きな木があり、橋と桜を一緒に写すことができました。ふだん歩いている場所でもなんか趣があるなと感じてしまいました。そう思うのは私だけではないようで、たくさんの方が写真を撮っていました。



～桜と日銀～

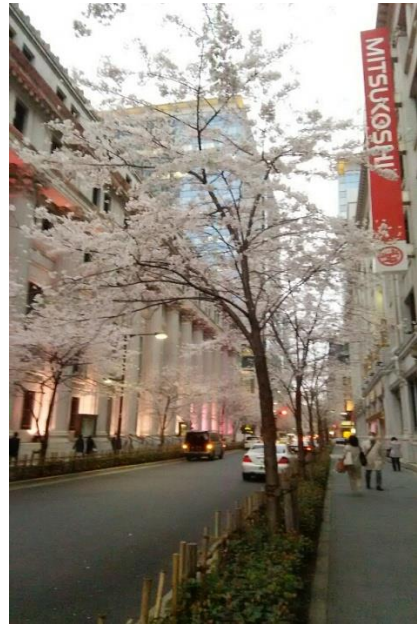
続いては、江戸桜通りです。日銀の本館前の通りなのですが、日銀前～三越～コレド室町と桜の木が道の両側に植えられていて、桜のトンネルのようになっていました。

(←日銀本館正面と桜)

～桜と近代アート～

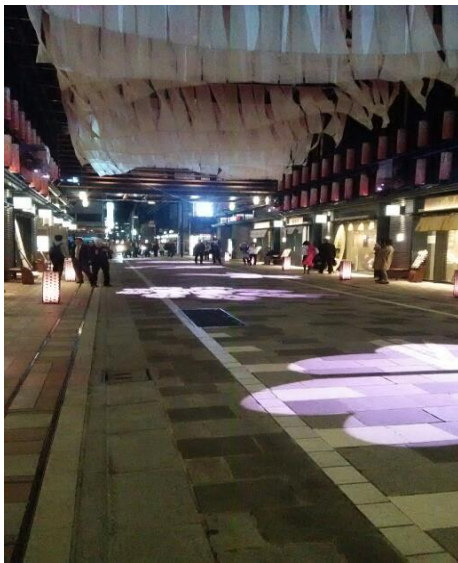
江戸通りを三越方面へ進む道のりにも桜が並びます(右写真)。

またこの時期、日が暮れると、江戸通りを挟んで三越の向かい側にある三井本館ビルは、桜の模様でピンク色にライトアップされます(下写真)。



イベントもやっていました。

コレド室町の仲通りでは、桜の短冊と音楽・映像によるショー(インスタレーション)を見ることができましたし、他にも老舗の限定オリジナルメニューを楽しむことができる屋台が出たり桜にまつわる宝探しをやっていたりしたようです。提灯や灯籠も特別な色となっており、桜色の光で包まれていました。



15分に1度の映像ショー。
動いているともっときれいでした



時期・時間にもよりますが、そこまで混雑せず穴場かもしれません。来年は、屋台をまわりながらほろ酔い気分でのお花見もいいかな、とおもいました。